

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	社会で求められる倫理観と研究能力を修得し、誰もが心身ともに豊かに生活できる福祉社会の創造と実現に貢献することができる。
DP2	研究と実践の双方において社会に貢献できる能力を修得し、福祉社会の課題に学際的に取り組むことができる。
DP3	社会福祉の理論と政策、ソーシャルワーク、福祉経営などの実践的専門分野を徹底して学び、各々の分野でリーダーとして、対人援助及び社会活動を展開することができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP										責任主体	備考
			DP1	DP2	DP3									
共通基礎アセスメント項目														
1	入学試験	入学定員充足率及び収容定員充足率によりアセスメントを行う。		◎									研究科委員会	
2	GPA	GPA分布によりアセスメントを行う。	○	◎									研究科委員会	
3	成績評価	成績分布及び単位修得率によりアセスメントを行う。	○	◎									研究科委員会	
4	履修状況	履修登録率によりアセスメントを行う。		◎									研究科委員会	
5	在学生調査	在学生意識調査の調査回答率及び各設問の肯定回答率によりアセスメントを行う。	◎										研究科委員会	
6	海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等	各海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等の参加者及び成果によりアセスメントを行う。	◎	○									研究科委員会	
7	地域活動	各地域活動等の参加者及び成果によりアセスメントを行う。	○		◎								研究科委員会	
8	退学率/休学率	退学率及び休学率によりアセスメントを行う。			◎								研究科委員会	
9	検定/資格（外部語学検定試験含む）等	各種検定・資格の受験条件充足率、受験率、合格率等によりアセスメントを行う。												実施している専攻のみ対象
10	学位授与	学位授与数によりアセスメントを行う。	◎										研究科委員会	
11	修了後の進路	就職率及び進学率によりアセスメントを行う。	◎		○								研究科委員会	
12	修了時調査	修了時調査の調査回答率及び各設問の肯定回答率によりアセスメントを行う。	○		◎								研究科委員会	
論文作成過程アセスメント項目														
13	研究計画書	研究計画書の提出率によってアセスメントを行う。		◎									研究科委員会	
14	研究中間発表	研究中間発表の実施率によってアセスメントを行う。		◎									研究科委員会	
15	論文作成計画発表	論文計画発表の実施率によってアセスメントを行う。		◎	○								研究科委員会	
16	修士論文概要発表	修士論文概要発表後の修士論文提出許可率によりアセスメントを行う。	◎		○								研究科委員会	
17	修士論文審査	修士論文の合格率によってアセスメントを行う。	◎		○								研究科委員会	